

政策の風『りんどう』

第7号 発行 令和4年2月15日



令和4年 年頭所感

『勇往邁進』

謹んで新春のお慶びを申し上げます。さて、今年は「寅年」です。寅の行動力に倣って、私たちも日本歯科医師連盟顧問であり、次期参議院議員推薦候補の山田宏議員並びに比嘉奈津美参議院議員の職域代表としての政治活動を大いに応援せねばなりません。現在、歯科医師の理想とする診療や業態の在り方については、会員の皆様が納得できる状態とは言えないと思います。我々の努力も不可欠ですが、国の方針・制度設計などへの影響力は政治活動によって決定していきます。今、歯科医療には追い風が吹き始めていると感じていますが、この状況を確実なものとするために会員のお力を結集し、「勇往邁進」することが大切だと思います。

熊本県のスローガンである「健康長寿は歯から」を政治・行政と共に着実に進め、国民・県民の皆さんの健康に貢献できるよう、ご協力の程よろしく願いたします。皆様のご健勝・ご多幸を心から祈念し年始の挨拶といたします。



熊本県歯科医師連盟 会長 伊藤 明彦

議員活動について

令和四年 新春鼎談 伊藤会長・椿常任理事 比嘉奈津美参議院議員 「歯科医師として・政治家として」

伊藤明彦 熊本県歯科医師連盟会長（以下伊藤） 比嘉先生、まずは当選おめでとうございませう。選挙から2年がたつてからの繰り上げ当選でしたが、お気持ちはいかがでしょう。

比嘉奈津美 参議院議員（以下比嘉） ありがとうございます。改めて身が引き締まる思いです。再び国政で頑張りたいと思っています。

伊藤 この2年間は、どのような活動をされてきたのでしょうか。

比嘉 その間は全国の知事選、衆議院選などいろいろな選挙がありましたので、全国の選挙区に入って、自民党の候補者を連盟から名簿をもらって「この候補者よろしくおねがいします」と1軒1軒歯科医院を回りました。今度の衆議院選では、10都道府県、15人の候補者のところを回りました。一日に多い時は70軒。これを北海道から秋田、山梨、埼玉、名古屋、広島。九州は鹿児島まで活動して、税金関連の事や診療報酬に関する連盟の持つ意義を、連盟に入っていない先生、歯科医師会に入っていない先生方も、我々議員、連盟の動きで恩恵を受けていることをみなさんに伝えるというか、興味を持ってもらえるような活動をこの2年間はしてきましたつもりです。その他にも、15年以上続けている歯科ボランティアでカンボジアの子どもの歯の治療に行くなど、歯科医療に携わる2年間でした。

椿 歯連盟常任理事（以下椿） そういふふうに先生が実際に行かれて、直接会われることは大切ですね。

比嘉 直接お会いすると先生方の意識も変わります。この2年、時間に余裕がありません。各県の役員だけでなく、地域の歯科医院、特に若い先生方に連盟の活動や国会議員のあり方について理解を得られればという気持ちで回っていました。

比嘉 中心地より離れた医院に顔を出すと、「こんなに遠くまで」と驚かれる先生もいたり、グループをしたまま対応してくださる先生、なるべく診療に支障が出ないよう名刺や資料を置いて出る。短い時間でも顔を合わすだけで気持ちが伝えられることの大切さをこれからも続けていきたいと思っています。

伊藤 実際、若手の先生方は、将来の歯科界の事を考えながら選挙活動して欲しいですね。

比嘉 はい。日本の医療は、国が決める国策なのです。6番1本抜歯して何点かで、自分達で決められないわけですから。国民皆保険という枠の中で、未病であつたり、あらゆる疾患の予防・重症化の抑制などに関して口腔内がどれだけ重要であるかを伝えて、国とのやり取りの中でひとつひとつ点数が決められる。そういったプロセスを理解していただきたいです。

伊藤 そうですね、総医療費が益々高くなっていくというけども、このまま高齢化が進めば、必ずしもっと医療逼迫になってくるから、我々が頑張らなければいけないという事が出てきますね。

比嘉 その中でやっぱり、歯科はまだエビデンスが十分に足りないと思います。データは少しずつ出てきていますが、やはり内科と比べてシンクタンクが弱いと感じています。財務省を説得するには、いわゆるビッグデータを分析し、説得力のあるエビデンスを出す必要があります。

伊藤 日歯総研ももっと充実させる必要があるのではないかと思います。

比嘉 大切なのは歯科の重要性を国会議員に伝えて、仲間をどれだけ増やせるかという事です。山田先生も頑張つて口腔勉強会を立ち上げ、徹底的にやっています。医師の国会議員って8人いるんですよ。歯科は、今4人です。そうなるよつぱり、味方して手を挙げてくれる仲間が何人いるかっていうのが勝負になるんです。

伊藤 地方の連盟も地方の議員を応援して、地道に積み上げていかないとダメなことですよ。

比嘉 はい。国、都道府県、区市町村にはそれぞれ国会議員、都道府県議会議員、区市町村議員の先生方がおります。この三つのパイプが繋がっているからこそ政治の安定が生まれ、国民一人一人の幸せに繋がる持続可能な政策ができると思います。だからこそ熊本県のスローガンであります「健康長寿は歯から」を着実に進めるために引き続き皆さんと共に取り組んで参ります。

伊藤 目に見える活動を誠意をもって行うことですね。

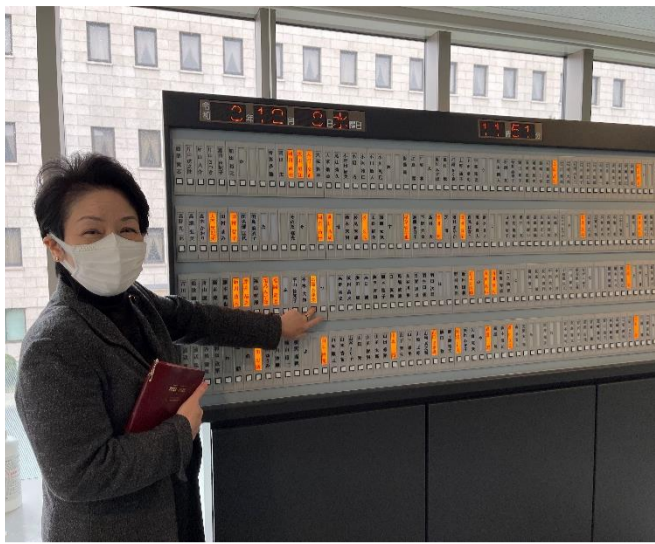
女性歯科医師の活躍

比嘉 歯科界は、女性が増えてきています。先日大学の先生方とお話ししていたら、在籍している女子学生が半数を超えていると伺いました。

（裏面に続く）



新型コロナウイルス感染症関連の情報は熊本県歯科医師会HPに掲載されています。3月の定時評議員会は3月26日（土）17時からです。



榑 今、一人の歯科医師でやっている診療所は時間もなく、負担が大きくて、訪問歯科診療に出ていきません。超高齢化社会になり、国も地域包括ケアや訪問歯科診療を進める方向にきていますが、今後歯科医師の数は足りなくなるとも思います。募集しても歯科衛生士とともに歯科医師もなかなか見つかりません。国はまだ歯科医師が過剰だと思っているのでしょうか？

賃金アップと診療報酬

榑 将来の歯科医師は女性の方が多くなるかもしませんが、これからもちっと真剣に考えないとイケませんね。

比嘉 私は全国初の県の女性副会長でした。理事、副会長を経て、その後政治の道へ進むことになりました。今、沖繩は、米須敦子先生が全国初の女性会長となり活躍されています。沖繩歯は女性の理事も委員もたくさんいますし、事務局長も女性です。沖繩県歯科医師会をモデルとし、女性歯科医師の活躍を全国に広め、診療と家庭の両立ができるような環境整備も必要だと思います。

伊藤 比嘉先生は歯科医師会の役員もされてました。

比嘉 それを考えると、女性活躍のあり方が非常に重要になってきます。歯科医師会の会員確保の面でも、女性歯科医師に入会していただく体制構築の必要があります。

榑 私たちの時代は圧倒的に男性が多かったですが、今や逆転している大学も多いようです。

比嘉 歯科医師の年齢層で一番多いのは60代だそうですね。それがあと10年もすれば現象に転じます。また、国家試験が昔は認定試験だったのが、今は選抜試験となり、歯科医師は不足するのではないかと危惧しています。このことをクロージアアップして訴える必要があります。また岸田政権で未来への投資として、賃上げを推進し、今、看護職3パーセント程度引き上げられる見通しですが、歯科衛生士の給与アップもしたいのですが、多くの歯科医院では簡単なことではないのが実情です。

伊藤 我々は保険診療という公定価格でやっているわけですから、診療報酬が上がらなければ人件費をあげることもできません。

比嘉 そういうことです。また歯科技工士も今50代が50%以上で、新たななり手もない。学校も定員割れしています。

榑 歯科技工士の働き方改革の会議に出させてもらっていますが、技工料金を値上げしてあげることが先だと思います。そのためにも歯科点数を上げないと私たちも払えない。また、歯科衛生士が行う予防処置や衛生指導などの点数をもっと上げて、さらに歯科衛生士の教育を2年制から3年制、4年制にしたことに対しても、対価を上げる。そういった順序もなく、ただ賃上げといわれても難しいと感じています。ただ、そういったバックボーンがしっかりして、賃上げができて、さらに働き方改革として労働条件がよくなれば、歯科衛生士も増えるのではないかと思います。

比嘉 昔からの積み重なった医科と歯科の歴史の中で、看護師と歯科衛生士の立場の差も、医科歯科の初診料再診料の差にも表れているような気がします。その差を縮めるために、しっかりと歯科の重要性を理解していただく声を共に賛同してくれる同志を作る。それができれば私たちが思い描いている国民の健康に結びつくという大義があります。それが政治の仕事だと思いい取り組んでいます。

伊藤 先生も休みがないとは思いますが休日が出て来たら何をしますか？

比嘉 コロナが収束したら、久しぶりにカンボジアに行きたいですね。私はあちらの食べ物も合うんですよ。そして、カンボジアにはたくさんの方々がいます。電気も水道もないところだから治療は抜歯ばかりです。煮沸消毒のことを、通訳が



比嘉 ありがとうございます。歯科医師として、政治家として、また女性として精一杯頑張りますので、今後ともご支援よろしく願います。

伊藤 本日は大変お忙しい中、ありがとうございます。

榑 人との繋がりも大切ですね。

伊藤 行動力がすごいですね。

「先生ペンチ茹でました」などという小さい頃ある方から、東京から円を描くと、沖繩から1,000km円を描くと教えられました。興味を持ち調べたら、沖繩からカンボジアの距離と北海道との距離がほぼ同じなんです。結局、福岡より台北、上海、香港が近い。そういう視点は大切だと思っています。ワインの国際審査員をしたり、新聞のコラムを書いたり、多くのことをしながら、沖繩県歯科医師会の役員になり、連盟の仕事の関係で当時の知事から政治家になることを進められて、沖繩の未来像を創る仕事からこの政治の世界に入ることになりました。でも、いつもそういった自分の足元から広く大きな視野でいろいろなものを見ていく姿勢は大切にしたいと考えています。

第2回日歯連盟政治セミナー開催

令和3年12月9日（木）東京飯田橋において、第2回の日歯連盟政治セミナーが開催され、伊藤県歯連盟会長と榑県歯連盟常任理事が参加しました。次第は以下の通り。

- 講演 第一部「選挙違反の実例に学ぶ」 顧問弁護士 橋爪雄彦・大胡誠
- 第二部「ネット選挙について」 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科特任教授 田代光輝
- 第三部「診療報酬改定に向けた取り組みについて」 参議院議員 上月良祐
- 第四部「岸田政権の行方と参議院選挙について」 政治ジャーナリスト 田崎史郎

懇談会では第一回と同様、多くの自民党所属議員が参加し、さまざまな意見交換ができました。



鈴木貴子衆議院議員・山田参議院議員



今井絵里子参議院議員



高橋英登会長



山田宏参議院議員



田崎史郎氏



上月良祐参議院議員

熊本県歯科医師連盟の

公式 Twitter ができました。

フォローをお願いします。



連盟会員の皆様のご意見を募集しています。

連盟活動に関する、ご要望やご意見は

熊本県歯科医師連盟まで

renmei@kuma8020.com